



につさい

【校訓】自ら

【学校教育目標】

考える子・思いやる子・げんきな子

笑顔あふれる学び合う学校を目指して

入西小学校 令和3年7月20日 校長・太田 久美子

1学期 終了しました。 ご理解・ご協力、ありがとうございました。

明日から夏休み。今年度は、通常通りの期間での夏休みとなります。「ああ、あの短い夏休みから1年たったのだなあ。」と思いながら、終業式で話をし、子供たちを見送ることをしました。

984名の子供たちとスタートした令和3年度。いつも元気で、人懐っこい子供たちと共に学んだ1学期でした。私たち教職員は、「子供の姿から学ぶ」ことを4か月間してきました。自分のクラスの子だけでなく、他のクラスに行き、「子供の観察」をしてきました。子供たちの動きや表情から「大切なこと」を新たに知ったり再確認したりしてきました。

そんな子供たちの姿から、私は次のことを学びました。

1年生は、4月はまだまだ小学校生活になじめない部分はあったものの、1か月たつ頃には、勉強も遊びも楽しみながら一生懸命に取り組む姿を見せてくれました。互いに名前を知ってから、よく挨拶もおしゃべりもできるようになりました。コミュニケーションの第1歩「名前を知る」ということが大切だなあと感じさせられました。

2年生は、外で走り回って遊ぶことが多く、擦り傷等の怪我也多い学年でした。校庭に近い校舎に移って、外で遊びやすくなったためのようです。「外で遊ばせたい。」という思いを達成するためには環境から整えていく必要があることがわかりました。

3年生は、学習教科（社会・理科・外国語活動・総合的な学習の時間）が増えたこともあって自主勉強に取り組み始めました。子供たちのノートは、日に日に内容がレベルアップし、得意なことに取り組む子もいれば、苦手にチャレンジする子もいます。おうちの方も参加する、お手伝いするような内容も見られました。5冊終了して、ストックしてあったさかろんノートをもらった子もいます。何事も「楽しんでやることが大切」であり、それが「継続する」という原動力になっていることに気づかされました。

4年生は、「工夫することの大変さと面白さ」を教えてくださいました。各クラスで学級活動や総合的な学習の時間の内容などに「探求」「工夫」「計画」「実行」など過程を大切にしたり取り組みを行いました。校長室には「これをやりたいからやっていいですか？」と計画書を持って来ます。面白いものほど、簡単には許可はおりません。それでも、「やりたい」との思い、「やるための工夫」、それについての「探求」を大事にし、知恵を出し合いプレゼンしに来ます。だいぶ説明することがうまくなりました。自分たちで、「学校生活を豊かにする」ことにチャレンジしました。

5年生は、「新たな文房具＝Chrome book」の活用をしてきました。おかげさまで教職員のスキルも子どもに負けじと上がってきました。これからの社会は、この端末を「特別なもの」ではなく「文房具」として使っていかなければなりません。そのチャレンジを子供同士での学びにも使うことができました。

6年生は、学校のリーダーとして、縦割り活動、挨拶運動等、積極的に取り組むことができました。「リーダーにはいろいろな姿がある。」と4月当初に話をしましたが、「自分の強み」を活かしながら、活動する6年生に頼もしさを感じています。「明確な役割が与えられると人は頑張れる。自信が生まれる。」といい顔をしている6年生が増えてきました。



夏休みは、保護者の皆さんも「子供の姿から学ぶ」に挑戦してみてください。

「観察」をすることで、何かが見えてきます。どうぞ、充実した夏休みをお過ごしください。

